

令和7年度第1回練馬区立美術館運営協議会 次第

日 時：令和7年8月27日（水）午後2時

場 所：サンライフ練馬 研修室

委嘱状交付

挨拶

1 令和6年度事業報告

- （1）展覧会事業
- （2）教育普及事業
- （3）美術作品の収集事業
- （4）施設利用状況
- （5）広報活動と反響

2 令和7年度事業計画（中間報告）

- （1）展覧会事業
 - ① アートマルシェ 2025「身体で感じる緑とアート」展
 - ② 幕末・明治の浮世絵—江戸・東京の都市と周縁—（仮称）
- （2）教育普及事業

3 その他

令和 7 年度

第 1 回 練馬区立美術館運営協議会資料

令和 7 年 8 月

令和7年度第1回練馬区立美術館運営協議会資料 目次

練馬区立美術館運営協議会委員名簿	1
練馬区立美術館運営協議会条例	3
1 令和6年度事業報告	5
(1) 展覧会事業	
(2) 教育普及事業	
① 令和6年度教育普及事業実績	7
② 令和6年度博物館実習受入実績	16
③ 令和6年度美術館サポーター(ボランティア)活動実績	17
(3) 美術作品の収集事業	
① 令和6年度美術作品の収蔵状況	18
② 令和6年度練馬区立美術館寄贈・寄託等リスト	19
③ 令和6年度収蔵品貸出一覧	21
④ 令和6年度美術館収蔵品データベース閲覧件数	22
(4) 施設利用状況	23
(5) 広報活動と反響	24
2 令和7年度事業計画(中間報告)	
(1) 展覧会事業	30
① アートマルシェ 2025「身体で感じる緑とアート」展	31
② 幕末・明治の浮世絵—江戸・東京の都市と周縁—(仮称)	32
(2) 教育普及事業	33

第20期 練馬区立美術館運営協議会委員名簿

	氏 名	役 職
学識経験者	タカハシ ヨウジ 高橋 幸次	元日本大学芸術学部 教授
	サトウ ヤスヒロ 佐藤 康宏	東京大学名誉教授
	ナイトウ マサト 内藤 正人	慶応義塾大学教授
	マブチ アキコ 馬渕 明子	日本女子大学名誉教授
	タナカ アツシ 田中 淳	大川美術館長
	セキ ナオコ 関 直子	早稲田大学文学学術院教授
練馬区議会 議員	つじ セイシン つじ 誠心	区議会議員
	ミズカミ アキコ 水上 明子	区議会議員
	コマツ あゆみ 小松 あゆみ	区議会議員
	イシモリ アイ 石森 愛	区議会議員
公募区民	スドウ アサヨ 須藤 麻世	公募区民
	ハタ チエコ 畑 智江子	公募区民
	イシハラ ヒデオ 石原 秀男	公募区民
美術団体 関係者	ヨシダ ミゾウ 吉田 巳蔵	練馬・文化の会代表
	シマダ コウイチロ 島田 紘一呂	練馬区美術家協会会長
学校教育 関係者	コムロ ケンイチ 小室 賢一	区立中学校長
	ミヤザキ ハルミ 宮崎 晴美	区立小学校長

練馬区立美術館運営協議会条例

昭和60年10月 8 日

条例第45号

(設置)

第 1 条 練馬区立美術館（以下「美術館」という。）の運営方針および事業計画を協議するため、練馬区立美術館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第 2 条 協議会は、区長の諮問に応じてつぎに掲げる事項について審議し、答申する。

- (1) 美術館の運営方針に関すること。
- (2) 美術館の事業計画に関すること。
- (3) 前 2 号に掲げるもののほか、区長が必要と認める事項

2 協議会は、前項各号に掲げる事項について、区長に意見を述べることができる。

(定数)

第 3 条 協議会は、委員19人以内をもって組織する。

(委員)

第 4 条 委員は、つぎの各号に定めるところにより、区長が委嘱する。

- (1) 学識経験者 8 人以内
- (2) 練馬区議会議員 4 人以内
- (3) 区民 3 人以内
- (4) 美術団体関係者 2 人以内
- (5) 学校教育関係者 2 人以内

2 前項第 3 号に規定する区民は、公募により選任するものとする。

(任期)

第 5 条 委員の任期は、2 年とする。ただし、委員に欠員が生じた場合における補充委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(会長および副会長)

第 6 条 協議会に会長および副会長を各 1 人置く。

- 2 会長および副会長は、委員が互選する。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第 7 条 協議会は、会長が招集する。

- 2 協議会は、委員の半数以上の出席がなければ、会議を開くことができない。
- 3 会議の議長は、会長が務める。
- 4 協議会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは議長の決するところによる。
- 5 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、意見を聴くこ

とができる。

(部会)

第8条 協議会は、第2条第1項に規定する事項について調査検討を行うため、部会を置くことができる。

2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。

3 部会は、協議会の求めがあったときは、必要な事項を報告しなければならない。

(庶務)

第9条 協議会の庶務は、地域文化部において処理する。

(委任)

第10条 この条例の施行について必要な事項は、練馬区規則で定める。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。

付 則(平成23年12月条例第53号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

付 則(平成26年12月条例第49号)

この条例は、平成27年4月1日から施行する。

1 令和6年度事業報告

(1)展覧会事業

令和6年度 展覧会事業日程および観覧者数

(ア)企画展・コレクション展

開催期間	展覧会	開催 日数	観覧者目標 (1日当り)	観覧者実数 (1日当り)	目標比 (%)
5月19日(日) ～7月7日(日)	三島喜美代 未来への記憶	43	17,200	17,381	101.1%
			(400)	(404)	
7月28日(日) ～9月23日(月・祝)	平田晃久 人間の波打ちぎわ	50	22,500	18,381	81.7%
			(450)	(368)	
10月6日(日) ～12月25日(水)	追悼 野見山暁治 野っ原との契約	69	13,800	10,552	76.5%
			(200)	(153)	
3月7日(金) ～3月30日(日)	トーク・トーク 40年のコレクションと展覧会	21	2,100	1,993	94.9%
			(100)	(95)	
	合 計	183	55,600	48,307	86.9%
			(304)	(264)	
	前年度	254	66,440	44,199	前年度比
			(262)	(174)	109.3%

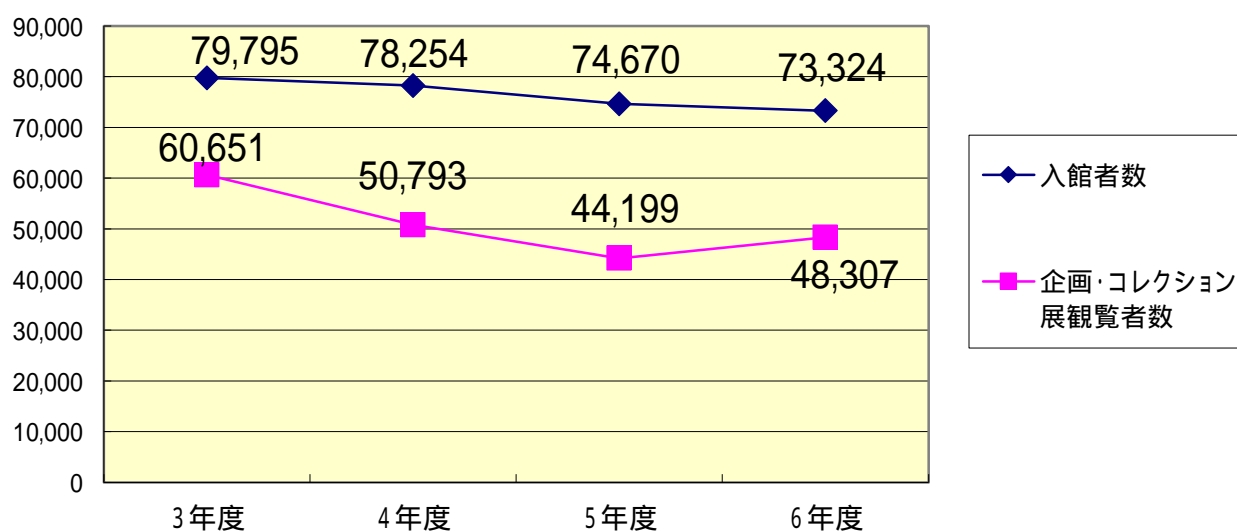
(イ) 各種展覧会

開 催 期 間	展 覧 会	開催 日数	観覧者実数 (1日当り)	
4月29日(月・祝) ～5月6日(月・休)	第70回練馬区美術家協会展	7	1,317 (188)	
[前期]2月13日(木) ～2月18日(火)	第56回練馬区民美術展	10	2,470	
[後期]2月23日(日・祝) ～2月28日(金)			(247)	
合 計		17	3,787 (223)	前年度比 15.2%
前年度		29	24,857 (857)	

(ウ) 入館者数

入館者数比較	5年度	6年度	前年度比
	74,670	73,324	98.2%

入館者数・観覧者数推移



(2)教育普及事業

①令和6年度 教育普及事業実績

令和7年7月31日作成

館内事業

I) 展覧会関連 (各展覧会を楽しむ)

① 関連ワークショップ・講座

事業名		日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
三島喜美代ー未来への記憶	三島喜美代ー未来への記憶展関連美術講座「段ボールで財布を作ろう！」	6月15日(土) 【A】11:00～12:30	島津冬樹 (段ボールアーティスト)	段ボールを用いて財布や小物を制作します。講座を通じて段ボールの特性を把握したのち、展示室に赴き、三島喜美代さんの陶でできた段ボールの作品を鑑賞した。	小学生以上・16名	500円 ※当日の観覧券が必要	8	85	8
		6月15日(土) 【B】14:00～15:30					8		8
	アートdeねりまちワークショップ「あなただけのさすらいきもの～樹脂粘土で作る小さなキャラクター」	6月23日(日) 10:30～15:00	濱田有美 (造形作家)	日常のものから、樹脂粘土でフィギュアを制作する。今回は動物公園と三島喜美代展を観覧し、それぞれキャラクターをイメージして制作した。	小学生以上・12名	500円 ※当日の観覧券が必要	12	34	10
平田晃久ー人間の波打ちぎわ	平田晃久ワークショップ「からまりしろ」を作ろう！	9月7日(土) 11:00～16:00	平田晃久 (平田晃久建築設計事務所)	平田晃久の建築設計概念のひとつ「からまりしろ」を制作します。	小中高生・20名	500円 ※当日の観覧券が必要	20	34	17
	太田市美術館・図書館バスツアー「平田晃久ー人間の波打ちぎわ」	9月14日(土) 9:30～18:30	平田晃久 (平田晃久建築設計事務所)	平田晃久建築設計事務所のスタッフに、太田市美術館・図書館の建築について解説していただきながら同館を見学します。	18歳以上・40名	5000円 ※当日の観覧券が必要	40	38	37
追悼 野見山曉治 野っ原との契約	野見山曉治の練馬のアトリエ「海の階段」訪問	10月12日(土) 13:00～14:00	山口千里 (一般財団法人野見山曉治財団事務長)	野見山の作品制作や日々の生活などについてお話しいただいた。	中学生以上・各回8名	無料 ※観覧券(当日以外の半券可)が必要	8	80	8
		10月19日(土) 13:00～14:00	塩崎太伸 (東京工業大学准教授)	建築の観点から野見山のアトリエについてお話しいただいた。			8	46	7
		11月23日(土・祝) 13:00～14:00	山口千里 (一般財団法人野見山曉治財団事務長)	野見山の作品制作や日々の生活などについてお話しいただいた。			8	72	7
		11月30日(土) 13:00～14:00	塩崎太伸 (東京工業大学准教授)	建築の観点から野見山のアトリエについてお話しいただいた。			8	89	8
	ワークショップ「野見山曉治の絵とことば」	11月17日(日) 13:30～16:30	貫井図書館職員 担当学芸員	野見山の絵とことばの両方の魅力に触れ、野見山が実際にしていた手法で作品をつくり発表した。	小学生以上・10名	無料 ※当日の観覧券が必要	10	20	6
								498	116
計10回 参加者延116名									

② ギャラリートーク・アーティストトーク・スライドトーク

事業名		日程	スピーカー	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
三島喜美代ー未来への記憶	スライドトーク	5月25日(土) 15:00～15:40	伊東正伸館長	展覧会を企画・構成した館長が展示作品等について解説した。	中学生以上	無料 ※観覧券が必要	40	-	27
	ギャラリートーク	6月5日(水) 15:00～15:30	担当学芸員	展覧会担当学芸員が展示作品等について解説した。	-	無料 ※観覧券が必要	-	-	29
		6月21日(金) 15:00～15:30	担当学芸員	展覧会担当学芸員が展示作品等について解説した。	-	無料 ※観覧券が必要	-	-	31
	スライドトーク	6月30日(日) 15:00～15:40	伊東正伸館長	展覧会を企画・構成した館長が展示作品等について解説した。	中学生以上	無料 ※観覧券が必要	60	-	57
		7月6日(土) 15:00～16:00	担当学芸員	展覧会担当学芸員が展示作品等について解説した。	-	無料 ※観覧券が必要	60	-	58
平田晃久一人間の波打ちざわ	ギャラリートーク	8月15日(木) 15:00～15:30	平田晃久建築設計事務所職員・担当学芸員	平田晃久建築設計事務所職員および展覧会担当学芸員が展示作品等について解説した。	-	無料 ※観覧券が必要	-	-	66
		8月29日(木) 15:00～15:30	平田晃久建築設計事務所職員・担当学芸員	平田晃久建築設計事務所職員および展覧会担当学芸員が展示作品等について解説した。	-	無料 ※観覧券が必要	-	-	37
		9月5日(木) 15:00～15:30	平田晃久建築設計事務所職員・担当学芸員	平田晃久建築設計事務所職員および展覧会担当学芸員が展示作品等について解説した。	-	無料 ※観覧券が必要	-	-	60
追悼 野見山曉治 野つ原との契約	ギャラリートーク	12月8日(日) 15:00～15:40	担当学芸員	展覧会担当学芸員が展示作品等について解説した。※手話通訳付きギャラリートーク(ちひろ美術館との連携事業による)	-	無料 ※観覧券が必要	-	-	30
トーク・トーク 40年のコレクションと展覧会	トーク・トーク 「美術館をつくるー練馬区立美術館始まりの物語」	3月8日(土) 14:00～15:30	横山勝彦(呉市立美術館館長、元当館学芸員)・担当学芸員	開館準備時代～開館当初の美術館をテーマにゲストと担当学芸員が対談した。	-	無料	-	-	84
	トーク・トーク 「地域と美術館 日芸との関わり」	3月9日(日) 14:00～15:30	鞍掛純一(日本大学芸術学部教授)・担当学芸員	日本大学芸術学部と美術館との関わりをテーマにゲストと担当学芸員が対談した。	-	無料	-	-	65
	トーク・トーク 「日本画の収集と展覧会ー開館草創期ー」	3月15日(土) 14:00～15:30	根崎光男(法政大学名誉教授、元当館学芸員)・担当学芸員	開館当初の日本画の収集や展覧会をテーマにゲストと担当学芸員が対談した。	-	無料	-	-	56
	トーク・トーク 「菊池容斎展裏譚」	3月16日(日) 14:00～15:30	野地耕一郎(泉屋博古館東京館長、元当館学芸員)	美術館で開催した日本画の展覧会をテーマにゲストが講演した。	-	無料	-	-	46
	トーク・トーク 「練馬区立美術館事始め」	3月22日(土) 14:00～15:30	土方明司(川崎市岡本太郎美術館館長、元当館学芸員)・真島直子(美術家、元当館学芸員)・担当学芸員	開館当初の展覧会や教育普及事業をテーマにゲストと担当学芸員が対談した。	-	無料	-	-	95
	トーク・トーク 「展示空間としての練馬区立美術館」	3月23日(日) 14:00～15:30	喜多孝臣(静岡県立美術館学芸員、元当館学芸員)・担当学芸員	ゲストが美術館で担当した展覧会をテーマに、ゲストと担当学芸員が対談した。	-	無料	-	-	50
	トーク・トーク 「19世紀フランス版画の登場！圧巻の鹿島茂コレクション展」	3月28日(金) 14:00～15:30	鹿島茂(フランス文学者、明治大学名誉教授)・担当学芸員	鹿島茂コレクション展などについてゲストと担当学芸員が対談した。	-	無料	-	-	110
	トーク・トーク 「電線愛好家と電線絵画」	3月29日(土) 14:00～15:30	石山蓮華(電線愛好家、文筆家、俳優)・担当学芸員	電線絵画展をテーマにゲストと担当学芸員が対談した。	-	無料	-	-	119

トーク・トーク 40 年のコレクションと 展覧会	トーク・トーク 「これまでの美術館、 これからの美術館」	3月30日(日) 14:00～15:30	若林寛(元当館 館長)・秋元雄 史(東京藝術大 学名誉教授、前 当館館長)・伊 東正伸(当館館 長)・担当学芸 員	それぞれが館長だった期間の 美術館の事業について、ゲスト と当館館長・担当学芸員が対 談した。	-	無料	-	-	99
								—	1,119
					計18回 参加者延1,119名				

③ 講演会、シンポジウム等

事業名		日程	講師・パネリスト	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
三島喜美代一未 来への記憶	講演会「三島喜美代 —その人と作品を 巡って」	6月1日(土) 15:00～16:30	建畠哲 (埼玉県立近代 美術館館長、草 間彌生美術館館 長)	三島喜美代その人と、彼女の 作品の魅力について、解説し ていただいた。	中学生以上	無料 ※観覧券が 必要(当日 以外の半券 でも可)	70	58	49
	講演会「人間の波打 ちぎわ」	8月24日(土) 14:30～16:00	平田晃久(平田 晃久建築設計事 務所)	本展の内容および見どころを 各展示室ごとに解説してい ただいた。	中学生以上	無料 ※観覧券が 必要(当日 以外の半券 でも可)	70	325	64
追悼 野見山曉治 野っ原との契約	講演会「修復を通じ て知る野見山曉治」	11月2日(土) 14:00～15:00	村松裕美 (絵画修復家)	今回の展覧会出品作品の修 復を通じて野見山作品の魅 力を解説していただいた。	中学生以上	無料 ※観覧券が 必要(当日 以外の半券 でも可)	30	51	27
	講演会「野見山曉治 の絵画世界—目に見 える現象の奥に潜む もの」	12月22日(日) 14:00～15:30	中村節子 (一般財団法人 野見山曉治財団 評議員)	野見山作品を身近に見てこ れたご経験から野見山作品 の魅力について解説してい ただいた。	中学生以上	無料 ※観覧券が 必要(当日 以外の半券 でも可)	40	130	33
「美術と社会」講 演会シリーズⅠ 現代アート	①東日本大震災と写 真	1月25日(土) 14:00～15:30	飯沢耕太郎 (写真評論家)	東日本大震災が写真家たち にどのような影響を及ぼした のか、その後の状況の変化 を含めて解説していただいた。	中学生以上	500円	70	53	48
	②美術批評家・中原 佑介が見た社会	1月26日(日) 14:00～15:30	加治屋健司 (東京大学学 院総合文化研 究科教授)	第二次世界大戦後の日本で 活躍した美術批評家の「御 三家」のひとりである中原 佑介(1931～2011年)の美術 批評について解説いただいた。	中学生以上	500円	70	61	46
	③美術建築の歴史と 動向	2月8日(土) 14:00～15:30	五十嵐太郎 (東北大学学 院工学研究科 教授)	建築とアートが交差する場 所としての「美術館」と、 建築家による展覧会の会場 デザインについて、国内外 の事例を解説いただいた。	中学生以上	500円	70	91	64
	④開かれた美術館: 「強い市民」 をつくるための金沢 21世紀美術館の挑 戦	2月11日(火・祝) 14:00～15:30	長谷川祐子 (金沢21世紀 美術館館長)	地域に根差した美術館の 在り方について、金沢21 世紀美術館の準備室から 立ち上げに携わり、現在 は館長として勤務してい る長谷川祐子に解説いた だいた。	中学生以上	500円	70	103	64
								872	395
					計8回 参加者延395名				

④ コンサート・ライブパフォーマンス

事業名		日程	出演	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
トーク・トーク 40 年のコレクションと 展覧会	特別コンサート	3月8日(土) 18:30～19:40	大谷康子 (ヴァイオリン) 大井駿 (ピアノ)	2階ロビーのスタインウェイ ピアノ(1877年製 寄託)が 製造された米国とこの時 代に所縁のある曲を演奏 した。	中学生以上	500円	100名→ 130名に増 席	724	136
								724	136
					計1回 参加者136名				

⑤ 鑑賞プログラム

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
トコトコ美術館vol.48 テーマ:とり	4月6日(土) 【A】10:30～12:00	真子みほ (当館学芸員)	美術館という場所や作品に親しみを持ってもらうことを目的とした親子参加の鑑賞プログラム。今回のテーマは「とり」。展覧会鑑賞ののち、テーマに則したとりの羽をテーマにした絵本を読み聞かせ、その世界観を味わった状態で創作室に移動し、色画用紙と針金で自分だけの羽根を作る。作った羽をもって再び展覧会会場を鑑賞し、参加メダルを授与して終了。	3～6歳の未就学児＋保護者	無料 ※観覧券が必要	各回5組	9組 22名	3組 6名
	4月6日(土) 【B】14:00～15:30						6組 13名	5組 11名
	4月7日(日) 【C】10:30～12:00						11組 24名	5組 11名
	4月7日(日) 【D】14:00～15:30						7組 14名	5組 10名
こどもと家族の鑑賞デー	10月27日(日) 15:00～18:00	-	こどもと保護者が「鑑賞シート」をもとにおしゃべりしながら展覧会を鑑賞。	未就学児から中学生とその保護者	無料 ※観覧券が必要	-	-	6組 13名
	11月13日(水) 15:00～18:00	-				-	-	1組 2名
	11月30日(土) 15:00～18:00	-				-	-	7組 26名
							-	79名
				計7回 参加者延79名				

II) 美術館を楽しむワークショップ(人が集う場作り)

① ネリビ図工室(自分の好きな材料で好きなものを作る実験室)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
ネリビ図工室「好きな材料で自由に作ろう！」	8月29日(木) 11:00～16:00	当館学芸員	時間内にいつ来ても、何を作っても良い実験室。	小中学生	100円	-	-	15
	12月14日(土) 11:00～16:00							26
							0	41
				計2回 参加者延41名				

② 施設等紹介事業(施設や所蔵作品から美術館を知るプログラム)

事業名	日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
美術館バックヤードツアー	2月15日(土) 11:00～12:00	当館学芸員	トラックヤード、収蔵庫、額保管室など、活用方法を示しながら館内を見学した。最後にツアーの感想と新しい美術館へのメッセージを展示室の壁に記入してもらった。	小学生以上	無料	各回10名	60	10
	2月28日(金) 11:00～12:00						31	9
							91	19
				計2回 参加者延19名				

事業計48回 参加者延1,905名

学校関連事業

I) スクールプログラム

美術館の施設および展覧会を学校教育の学習に活用してもらうため、以下のプログラムを用意し、実施した。

① 団体鑑賞

展覧会	日程	内容	学校名	生徒数	引率
三島喜美代—未来への記憶	6月13日(木) 11:25～12:05	三島喜美代展の鑑賞を通じて、美術史・美術館について知る機会とする。	富士見中学校(松組)	41	1
	6月18日(火) 10:40～11:20	三島喜美代展の鑑賞を通じて、美術史・美術館について知る機会とする。	富士見中学校(桃組)	42	1
	6月18日(火) 11:40～12:20	三島喜美代展の鑑賞を通じて、美術史・美術館について知る機会とする。	富士見中学校(竹組)	39	1
	6月19日(水) 13:15～13:55	三島喜美代展の鑑賞を通じて、美術史・美術館について知る機会とする。	富士見中学校(桜組)	41	1
	6月19日(水) 14:15～15:55	三島喜美代展の鑑賞を通じて、美術史・美術館について知る機会とする。	富士見中学校(梅組)	41	1
	6月20日(木) 10:00～12:00	三島喜美代展の鑑賞を通じて、美術史・美術館について知る機会とする。	中村小学校(6年生4クラス)	143	5
	6月21日(金) 10:00～11:20	三島喜美代展の鑑賞を通じて、美術史・美術館について知る機会とする。	中村小学校(5年生5クラス)	160	7
	6月22日(土) 11:40～12:20	三島喜美代展の鑑賞を通じて、美術史・美術館について知る機会とする。	富士見中学校(菊組)	38	1
	7月3日(水) 9:30～11:30	三島喜美代展の鑑賞を通じて、美術史・美術館について知る機会とする。	西東京市住吉小学校(4年生3クラス)	75	20
	7月5日(金) 10:00～11:30	三島喜美代展の鑑賞を通じて、美術史・美術館について知る機会とする。	八坂小学校 4年生(2クラス)	63	4
平田晃久—人間の波打ちぎわ	9月10日(火) 10:00～11:30	平田晃久展の鑑賞を通じて、建築や美術館について深める機会とする。	都立志村学園中等部(特別支援クラス4組)	7	7
	9月18日(水) 14:00～15:30	平田晃久展の鑑賞・学芸員による解説を通じて、建築史・美術館について深める機会とする。	日本大学芸術学部デザイン学科	13	1
	9月19日(木) 10:00～11:30	平田晃久展の鑑賞を通じて、建築や美術館について深める機会とする。	都立志村学園中等部(特別支援クラス5組)	7	8
追悼 野見山暁治 野っ原との契約	10月31日(木) 10:00～11:00	野見山展の鑑賞とバックヤード見学を通じて、美術および練馬区の文化について理解を深める。	石神井東小学校(4年生2クラス)	50	8
	12月11日(水) 10:00～11:30	野見山展の鑑賞とバックヤード見学を通じて、美術および練馬区の文化について理解を深める。	旭町小学校(4年生2クラス)	57	4
	12月13日(金) 10:00～11:30	野見山展の鑑賞とバックヤード見学を通じて、美術および練馬区の文化について理解を深める。	光が丘春の風小学校(6年生3クラス)	82	6
				899	76
				計16回 延975名	

② 施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する。

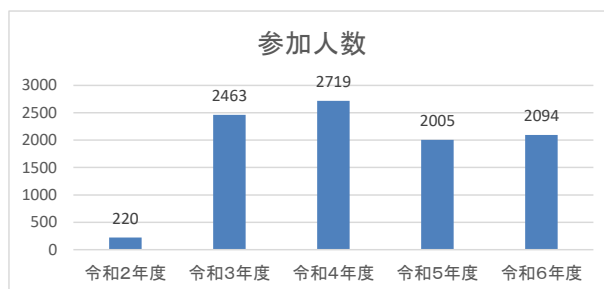
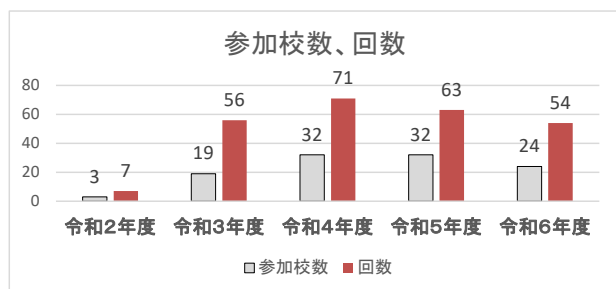
コース名	日程	内容	学校名	生徒数	引率
施設見学	6月20日(木) 13:00～15:30	学芸員を志望する学生が、展覧会・バックヤードを見学し、学芸員より話を聞くことで、現場における実践知を養う	一橋大学大学院言語社会研究科	5	1
	6月25日(火) 14:00～15:30	学芸員を志望する学生が、展覧会・バックヤードを見学し、学芸員より話を聞くことで、現場における実践知を養う	日本大学芸術学部 学芸員資格課程	10	1
	6月27日(木) 10:00～12:00	学芸員を志望する学生が、展覧会・バックヤードを見学し、学芸員より話を聞くことで、現場における実践知を養う	日本大学通信教育学部	8	2
	6月28日(木) 14:00～15:30	学芸員を志望する学生が、展覧会・バックヤードを見学し、学芸員より話を聞くことで、現場における実践知を養う	日本大学芸術学部 学芸資格課程	11	1
	9月5日(木) 11:00～12:00、 13:55～14:55	学芸員が展覧会・美術館バックヤードを案内し、美術館について知ってもらう機会とする。	中村西小学校 6年2クラス	66	3
	10月17日(木) 10:00～12:00	学芸員が展覧会・美術館のバックヤードを案内し、美術館について知ってもらう機会とする。	練馬第三小学校 2年生3クラス	12	4
				112	12
				計6回 延124名	

③ 職場体験・訪問 受付や監視、事務、学芸などいくつかの仕事を体験させ、美術館全体の役割を伝える。

コース名	日程	事前訪問日程	学校名	生徒数	引率
職場体験	7月4日(木)・5日(金) 9:30～15:00	6月21日(金)	練馬中学校 2年生	2	-
	7月30日(火)・31日(水) 9:30～15:00	7月10日(水)	開進第三中学校 2年生	3	-
	8月14日(水)・15日(木) 9:30～15:00	-	東京都立西高等学校 1年生	1	-
	9月5日(木)・6日(金) 9:30～15:00	7月12日(金)	練馬東中学校 2年生	2	-
	9月10日(火)・9月11日(水) 9:30～15:00	9月5日(木)	関中学校 2年生	2	-
	9月12日(木)・13日(金) 9:30～15:00	7月12日(金)	南が丘中学校 2年生	2	-
	9月12日(木)・13日(金) 9:30～15:00	-	光が丘第三中学校 2年生	3	-
	9月18日(水)・19日(木) 9:30～15:00	9月3日(火) 14:00	三原台中学校 2年生	3	-
	10月18日(金)・22日(火) 9:30～15:00	-	石神井中学校 2年生	3	-
				21	-
				計9回 延21名	

④ 出張プログラム 担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをした。

コース名	日程	内容	学校名	生徒数	教員
出張プログラム	6月3日(月) 10:30～11:40	6月20・21日の団体鑑賞のための事前授業。美術館と展覧会の紹介の後、三島喜美代が最初期に手がけたコラージュ作品を、外国語新聞・子供新聞を用いて制作した。	中村小学校 6年4組	37	1
	6月11日(火) 8:40～9:40		中村小学校 5年2組	34	1
	6月11日(火) 9:50～10:50		中村小学校 5年4組	32	1
	6月11日(火) 11:00～12:00		中村小学校 5年5組	32	1
	6月11日(火) 13:00～14:00		中村小学校 6年1組	35	1
	6月12日(火) 8:30～9:30		中村小学校 5年1組	31	1
	6月12日(火) 9:40～10:40		中村小学校 5年3組	31	1
	6月12日(火) 10:50～11:50		中村小学校 6年2組	36	1
	6月12日(火) 8:30～12:00		中村小学校 6年3組	35	1
	6月15日(土) 9:25～10:10	所蔵品カードのゲーム後、印刷した6作品から好きなものを選びグループで作品を鑑賞しながら質問の答えを書き込んだ。最後は質問の答えを材料にタイトルを考えた。	東久留米市立神宝小学校 6年1組	24	1
	6月15日(土) 11:15～12:00		東久留米市立神宝小学校 6年2組	29	1
	6月25日(火) 10:45～11:35	校内の作品をよく見るための授業。2人1組でワークシート1枚を持ち、シートに書かれた場所と作家名、タイトルをヒントに校内で作品を探す。見つけた作品を説明する文章を書く。戻ったら説明文を読み上げ、床に広げた作品画像から他の組に作品を当ててもらう。	富士見中学高等学校 中学2年菊組	36	1
	6月25日(火) 14:20～15:10		富士見中学高等学校 中学2年梅組	38	1
	7月5日(金) 10:45～11:35		富士見中学高等学校 中学2年竹・桃組	36+38	1
	7月5日(金) 11:45～12:35		富士見中学高等学校 中学2年松・桜組	38+38	1
	9月3日(火) 13:10～14:00	9月10日・9月19日の団体鑑賞の事前授業として、美術館・平田展の紹介、「からまりしろ」を制作した。	都立志村学園中等部 (特別支援クラス4+5組)	15	15
	9月10日(火) 13:10～14:00	展覧会鑑賞の事後授業として、事前授業のクイズの答えあわせ、平田展の解説を行った。	都立志村学園中等部 (特別支援クラス4+5組)	7	7
	9月19日(木) 13:10～14:00	展覧会鑑賞の事後授業として、事前授業のクイズの答えあわせ、平田展の解説を行った。	都立志村学園中等部 (特別支援クラス4+5組)	7	8
	10月24日(火) 8:45～9:30	美術館・展覧会紹介ののち、野見山暁治の作品制作の方法を実際にやってみるプログラムを行った。	石神井東小学校 4年1組	28	2
	10月24日(火) 9:35～10:25	美術館・展覧会紹介ののち、野見山暁治の作品制作の方法を実際にやってみるプログラムを行った。	石神井東小学校 4年2組	27	2
	11月1日(金) 14:30～15:30	美術館・博物館の役割・展覧会の鑑賞方法について、パワーポイントを用いた講義を行った。	貫井中学校 2年生	137	-
	2月8日(土) 8:30～12:30	練馬区立美術館の紹介をパワーポイントで行い、所蔵品カードで当館の作品を知るゲーム、当館所蔵作品作家の一人白髪一雄の手法を真似て描く講義を行った。	田柄第二小学校 6年生(2クラス)	70	3
	2月27日(木) 9:35～12:00	練馬区立美術館の紹介をパワーポイントで行い、所蔵品カードで当館の作品を知るゲームの講義を行った。	旭町小学校(4年生2クラス)	48	3
				919	55
				計23回 延974名	



Ⅱ) ティーチャーズデー

当館及び当館主催の展覧会を、授業等で活用していただくために、区内の小中学校の先生を対象とした展覧会鑑賞日を設ける。各日ともに展示担当学芸員(または教育普及担当)による展示解説を30分程度行い、その後は自由鑑賞とする。

展覧会名	日程	参加人数
三島喜美代ー未来への記憶	5月21日(火)	9
平田晃久ー人間の波打ちぎわ	7月30日(火)	17
追悼 野見山暁治 野っ原との契約	10月22日(火)	12
トーク・トーク40年のコレクションと展覧会	3月18日(火)	13
		51
		計4回 延51名

Ⅲ) 団体鑑賞時のバスの利用

展覧会名	日程	学校名	台数
三島喜美代ー未来への記憶	7月5日(金)10:00～11:30	八坂小学校 4年生(2クラス)	2
追悼 野見山暁治 野っ原との契約	12月11日(水)10:00～11:30	旭町小学校 4年生(2クラス)	2
	12月13日(金)10:00～11:30	光が丘春の風小学校 6年生(3クラス)	2
			6
			計3回 6台

Ⅳ) スクールミュージアム

美術館の所蔵作品を学校の授業に役立ててもらうため、紙製の図版カード(トランプ大)の貸し出しを行う。
※これらのツールは、平成18年文化庁芸術拠点形成事業助成を受け、当館の所蔵作品から104点を選出し、作成したもの。

貸し出し なし

その他

I) 団体鑑賞(一般)

受入日	学校・団体名	参加
実施なし	—	—
		0
		計0回 0名

II) インターン等受入

受入日	学校・団体名	人数
実施なし	—	—
		0
		計0回 0名

III) アートマルシェ

まちと美術館・図書館をつなぐ、地域との交流イベント

事業名		日程	講師	内容	対象	参加費	定員	申込	参加
アートマルシェ プレ・ワークショップ	ロゴを作ろう！デザインワークショップ	8月17日(土) 10:30～16:00	溝端貢(グラフィック・デザイナー)	アートマルシェのロゴをデザインして、マルシェの会場をかざるガーランドやステッカーをつくった。	小学4年生以上	無料	10	9	9
	ねりび・あにまるぱれーど プレワークショップ	8月31日(土) 10:30～16:00	パフォーミングアーツ協会(若羽幸平、山本裕、川村真奈、船木こころ)、ミホウベイント	アートマルシェ当日の「ねりび・あにまるぱれーど」で披露する動物をまねた衣装づくりおよびダンスをプロのダンサーと練習した。	小学生以上	無料	20	19	23
アートマルシェ	ねりび・あにまるミニワークショップ	9月14日(土) 9月15日(日) 10:00～15:00	当館学芸員	どうぶつになりきる仮装グッズをつくった。つくった仮装グッズを身につければれーどに参加した。	—	無料	—	—	186
	ねりび・あにまるぱれーど	9月14日(土) 9月15日(日) 15:30～16:15	パフォーミングアーツ協会(若羽幸平、山本裕、川村真奈、船木こころ)、ミホウベイント	プレWSで作った衣装とダンスでどうぶつになりきり、マルシェ会場や商店街を練り歩いた。飛び入り参加者もあり。	—	無料	—	24	79
	リサイクル本頒布会(貫井図書館)	9月14日(土)10:30～12:00、13:00～15:00 9月15日(日)10:30～12:00、13:00～15:00	—	図書館のリサイクル本を希望者に無料で配布した。	—	無料	—	—	9/14 2,020冊 9/15 1,888冊
	絵本読み聞かせ(貫井図書館)	9月14日(土) 11:00～11:30 14:30～15:00	—	貫井図書館職員による絵本の読み聞かせ	3歳以上	無料	—	—	90
	おとなのためのおはなし会(貫井図書館)	9月15日(日) 14:00～15:00	—	俳優・声優の野村須磨子氏を読み手に迎えた小泉八雲作「耳なし芳一」の読み語り。	中学生以上	無料	—	—	38
	地域の出店(東部地域まちづくり課)	9月14日(土) 10:00～15:00 9月15日(日) 10:00～15:00	—	中村橋で親しまれているお店や団体の出店	—	—	—	—	4414
								計	4839

令和6年度 博物館実習受入実績

実習実施期間

令和6年10月2日～10月8日 全5日間

10月6日(日)・7日(月)を除く

No	大学名	学部等	人数
1	武蔵大学	人文学部 ヨーロッパ文化学科	1名
2	女子美術大学	芸術学部 美術学科 立体アート専攻	1名
3	立教大学	現代心理学部 映像身体学科	1名
4	明治大学大学院	理工学研究科 建築・都市学専攻総合芸術系	1名
5	日本女子大学	文学部 史学科	1名
6	明治学院大学	文学部 芸術学科 日本東洋美術史コース	1名
7	武蔵野美術大学	造形学部 油絵学科 油絵専攻	1名
8	実践女子大学	文学部 美学美術史学科	1名
9	日本大学	芸術学部 文芸学科	1名
合 計			9名

(前年度8名)

令和6年度 美術館サポーター(ボランティア)活動実績

「美術館サポーター」は、平成17年8月からスタートしたボランティア活動(1年更新)で、美術館事業の一部(イベントの手伝い・美術関連資料整理等)を担ってもらっているボランティア活動である。

令和6年度は総勢18名のサポーターが各展覧会の事業補助や美術関連資料の整理などに従事している。

サポーター活動の実績

令和6年4月～令和7年3月

展 覧 会 等	活動内容	活動日数	延べ人数
練馬区民美術展	会場整理等イベント補助	5日	12名
美術関連資料整理		21日	137名
合 計		26日	149名

(令和5年度 23日 延160名)

(3) 美術作品の収集事業

令和6年度 美術作品の収蔵状況

(令和7年3月31日現在)

年度	日本画		洋画		版画		工芸		書		彫刻・立体		その他		計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	寄贈	
S59	6		9	1			1	2							16	3	19
60	1	1	5	1		1				1					6	4	10
61		7	14	221	14	28								317	28	573	601
62	3	1	32	16	9	1							1	1	45	19	64
63	2	1	15	1	12										29	2	31
H1	2		5	48											7	48	55
2	4	1	19	29	4	1									27	31	58
3	2	1	14	13											16	14	30
4	2	1	12	10	18	9									32	20	52
5	2		1	2											3	2	5
6	1	1	15	7		1					1				17	9	26
7	2	4	4	3		1						1			6	9	15
8	1	2	2	9	5	1									8	12	20
9			12	2	1	46									13	48	61
10	3	4	12	21											15	25	40
11		4	12	5		134									12	143	155
12		8		11											0	19	19
13				13											0	13	13
14		29		13											0	42	42
15		1	6	8	12	77									18	86	104
16		65		6											0	71	71
17		6		20											0	26	26
18		30		121		97								8	0	256	256
19		17		40				5				7		7	0	76	76
20		8		31		21									0	60	60
21		8		44		98						13			0	163	163
22		11		168		9								3		191	191
23		8		13								1		123		145	145
24		32		10		33										75	75
25															0	0	0
26		13	1	422		215						22		2084	1	2756	2757
27		5		97		112		25						18	0	257	257
28		25		22												47	47
29															0	0	0
30		5		11		25								15		56	56
R1		1		2				16				3		28		50	50
2		1		12		1						17		6		37	37
3				62		1						3		30		96	96
4			2	20		5									2	25	27
5		1		32		149										182	182
6		4	2	13		1						10		99	2	127	129
合計	31	306	194	1580	75	1067	1	48	0	1	1	77	1	2739	303	5818	6121

令和7年3月31日現在
寄託作品 1,582点

購入・寄贈・寄託計 7,703点

②令和6年度練馬区立美術館 購入・寄贈・寄託等リスト

■(1)購入作品 2点

	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
1	野見山暁治	束の間	2004-16年頃	油彩・カンヴァス	194.0×162.0
2	野見山暁治	当てにはならない	2021年	油彩・カンヴァス	112.0×146.0

■(2)寄贈作品 97点 (作家名の五十音順。)

	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
1	今井ロゼン	復興	1947	油彩・カンヴァス	145.5×89.4
2	今井ロゼン	海の子	1950	油彩・カンヴァス	130.3×97.0
3	今井ロゼン	室内	1955	油彩・カンヴァス	53.0×45.5
4	加藤良造	山水境	2007年	紙本墨画着色	227.3×162.0
5	菊池容斎	人物写生	江戸末	紙本墨画	
6	新恵美佐子	花2	2005年	綿布・墨、岩絵具、アクリルメディウム、パネル	227.0×363.0
7	新恵美佐子	花3	2005年	綿布・墨、岩絵具、アクリルメディウム、パネル	181.0×227.0
8	三島喜美代	20世紀の記憶	1984-2013	耐火煉瓦に転写	サイズ可変
9	三島喜美代	化石になった情報88	1986-88	陶、転写、鉄、木、車輪付きメタルシェルフ	17.0×142.0×70.0
10	三島喜美代	閉じ込められた情報B	1989	陶、転写、コンクリート、鉄	150.0×60.0×60.0
11	三島喜美代	閉じ込められた情報C	1989	陶、転写、コンクリート、鉄	150.0×60.0×60.0
12	三島喜美代	WORK24-C1	2024	陶、転写、彩色・鉄	79.0×55.0×55.0
13	三島喜美代	Work (大型計算機排出紙)	1980年代後半-1990年代	陶、転写	20.0×16.0×10.0
14	三島喜美代	Work (新聞と雑誌束)	不詳	陶、転写、彩色	28.2×34.0×19.0
15	三島喜美代	News Paper (The Japan News)	2019-2024年	陶、転写	29.5×21.0×3.5
16	三島喜美代	Work (少年ジャンプ)	不詳	陶、転写、彩色	16.0×11.8×11.0
17	若林奮	GRASS	1993年	リトグラフ・紙	97.5×80.5 (3点組)
18	若林奮	Run and Rest	1996年	鉄	168×200×609.5
19	若林奮	素描一式 (68点)	1987-97年	ペン、鉛筆など・紙	25.4×30.3など
20	安井曾太郎	女性像デッサン	1952年頃	えんぴつ、水彩・紙	25.1×29.8
21	淀井彩子	日没	1979年	油彩・カンヴァス	145.5×112.0
22	淀井彩子	長い西日	1979年	油彩・カンヴァス	145.5×112.0
23	淀井彩子	真昼・水の上	1982年	油彩・カンヴァス	130.3×162.0
24	淀井彩子	洞窟を訪ねる方法1	2021年	油彩・カンヴァス	130.3×97.0
25	淀井彩子	洞窟を訪ねる方法2	2021年	油彩・カンヴァス	185.0×150.0
26	淀井彩子	時間・呼びかける 1	2018年	アクリル・カンヴァス	185.0×150.0
27	淀井彩子	時間・呼びかける 2	2018年	アクリル・カンヴァス	185.0×150.0
28	淀井彩子	時間・呼びかける 3	2018年	アクリル・カンヴァス	185.0×150.0
29	淀井彩子	芯・時間・色彩-1	2009年	ピグメントスティック・カンヴァス	203.0×97.0
30	淀井彩子	芯・時間・色彩-2	2009年	油彩・カンヴァス	212.0×115.5

■(3) 寄贈資料 30点

	作者名	作品名	制作年	材質技法	サイズ(cm)
1	三島喜美代	熔融スラグ試作品	2000年代	熔融スラグ	30.0×20.0×3.6
2	三島喜美代	サビクギ	2000年より前	錆びた釘	19.9×17.5×11.0
3	三島喜美代	三島喜美代 手紙 (2001年8月27日井上明彦宛て)	2001年	紙	25.8×17.7
4	三島喜美代	三島喜美代 手紙 (2001年10月19日井上明彦宛て)	2001年	紙	29.5×21.0
5	三島喜美代	三島喜美代 写真と手紙 (2012年5月25日井上明彦宛て)	2012年	紙、写真	21.0×29.7
6	三島喜美代	三島喜美代 手紙とDM (2012年9月19日井上明彦宛て)	2012年	紙	17.6×8.4、14.8×10.0
7	三島喜美代	三島喜美代 作品写真	不詳	写真 (32枚)	各16.5×11.0
8	三島喜美代	三島喜美代 略歴	1987年	紙	18.0×11.0 (A3)
9	三島喜美代	三島喜美代 作品写真	1997年	写真 (2枚)	30.3×20.3、10.0×15.1
10	三島喜美代	三島喜美代 村松画廊個展の展示説明・作品写真	2001年	紙、写真	18.6×41.7、14.7×10.1
11	三島喜美代	豊島行きの際の記録写真	2008年	写真	各1280×960pix
12	三島喜美代	三島喜美代、難波道弘 記事	2008年	紙	29.5×21.1
13	三島喜美代	三島喜美代 対談 秋山陽・井上明彦	2018年	映像 (23分49秒)	14.8×14.8
14	三島喜美代	三島喜美代さんを囲んで	2018年	写真	2016×1512pix
15	三島喜美代	Les Voix 三島喜美代 インタビュー	1991年	紙	21.0×29.7
16	三島喜美代	三島喜美代 南画廊 個展カタログ	1974年	紙	29.6×21.0
17	三島喜美代	三島喜美代 桜画廊 個展カタログ	1980年	紙	20.6×26.0
18	三島喜美代	三島喜美代 ギャラリー上田ウェアハウス 個展カタログ	1985年	紙	22.0×25.1
19	三島喜美代	三島喜美代 個展カタログ クレイ・クレイジー展	1990年	紙	21.9×26.4
20	三島喜美代	三島喜美代 個展カタログ Anne Mosseri-Marlio Gallery	2018年	紙	21.0×14.7、17.6×8.4
21	三島喜美代	三島喜美代 新居 個展DM	2004年	紙	14.6×9.9
22	三島喜美代	三島喜美代 ART FACTORY 城南島 個展DM	2015年	紙	27.4×11.9
23	三島喜美代	三島喜美代 タカインシイギャラリーNY 個展DM	2016年	紙	17.8×12.7、21.0×29.4
24	三島喜美代	三島喜美代 MEM 個展DM	2017年	紙	14.7×21.0
25	三島喜美代	三島茂司・喜美代 MEM 個展DM	2018年	紙	14.7×21.0
26	三島喜美代	三島喜美代 ギャラリー・ヤマキ・ファインアート 個展DM	2018年	紙	14.6×10.0
27	三島喜美代	三島喜美代 MEM 個展DM	2020年	紙 (2枚)	21.0×14.7
28	三島喜美代	三島喜美代 ギャラリー・ヤマキ・ファインアート 個展DM	2020年	紙	14.6×9.9
29	三島喜美代	三島喜美代 MEM 個展DM	2021年	紙	14.6×14.8
30	三島喜美代	三島喜美代 銀座蔦屋書店 個展DM	2022年	紙	14.6×9.9

■(4) 寄託作品 なし

■(5) 寄託資料 なし

■(6) その他 なし

令和6年度 収蔵品貸出一覧

19施設の展覧会に、計53作品の貸し出しを行った。

	貸出施設	展覧会名	会期	貸出作品
1	東京ステーションギャラリー	春陽会誕生100年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ	令和5年9月16日～11月12日	萬鉄五郎(荒れ模様) 1923年、油彩・カンヴァス
	栃木県立美術館		令和6年1月13日～3月3日	
	長野県立美術館		令和6年3月16日～5月12日	
	碧南市藤井達吉現代美術館		令和6年5月25日～7月7日	
2	久留米市美術館	芥川龍之介と美の世界 二人の先達 夏目漱石、菅虎雄	令和5年10月18日～令和6年1月28日	松岡映丘(湯煙(草枕)) 1928年 絹本着色
	神奈川県立近代美術館 葉山		令和6年2月10日～4月7日	
3	京都府京都文化博物館	『シュルレアリスム宣言』100年 シュルレアリスムと日本	令和5年12月16日～令和6年2月4日	齊藤長三(わが旅への誘い) 1935年、油彩・カンヴァス
	板橋区立美術館		令和6年3月2日～4月14日	
	三重県立美術館		令和6年4月27日～6月30日	
4	横須賀美術館	驚異の細密表現展 江戸・明治の工芸から現代アートまで	令和6年4月20日～6月23日	須田悦弘(雑草) 1998年、岩絵具・木
				須田悦弘(チューリップ) 1996年、岩絵具・木
5	群馬県立館林美術館	鹿島茂コレクション フランスのモダングラフィック展	令和6年4月26日～6月30日	関連資料合計35点
6	東京国立近代美術館	ハニワと土偶の近代	令和6年10月1日～12月22日	池田龍雄(賑やかな人々) 1956年 油彩・カンヴァス
7	静岡県立美術館	無言館と、かつてありし信濃デッサン館-窪島誠一郎の眼	令和6年10月12日～12月15日	野見山暁治(栃木) 1943年 油彩・カンヴァス
				野見山暁治(肖像) 1947年 油彩・カンヴァス
				野見山暁治(骸骨) 1949年 油彩・カンヴァス
8	東京藝術大学美術館	退任記念 齊藤典彦展 水の國ノ白き森	令和6年10月26日～11月10日	【寄託作品】 齊藤典彦(みなも-rb) 2002年 岩絵具・絹
				齊藤典彦(in her garden) 2005年 岩絵具・麻紙
9	松濤美術館	須田悦弘展	令和6年11月30日～令和7年2月2日	須田悦弘(ベルリン) 1997年、岩絵具・木
				須田悦弘(雑草) 1998年、岩絵具・木
10	富山県水墨美術館	ひらけ墨画ワールド 園家誠二 つくる世界・そだてる絵	令和7年2月21日～5月11日	園家誠二(VIEW) 2005年 雲肌麻紙、水干、岩絵具、墨、アクリルガッシュ
11	日本芸術院	日本芸術院賞審査	令和7年2月7日	福田美蘭(つるバラ「エドゥアール・マネ」) 2022年、パネルにアクリル
12	高知県立美術館	浜田浄 めぐる 1975 - 展	令和7年2月8日～4月13日	【寄託作品】 浜田浄(ドローイング(1)) 1979年 鉛筆・紙
				【寄託作品】 浜田浄(ドローイング(2)) 1979年 鉛筆・紙
13	ふくやま美術館	Rose イメージの系譜展	令和7年4月5日～6月8日 (令和7年3月20日から貸出)	福田美蘭(つるバラ「エドゥアール・マネ」) 2022年、パネルにアクリル

令和6年度 美術館収蔵品データベース閲覧件数

収蔵品については、平成17年にデジタルデータ化し、利用機会の拡充を行った。
平成24年にはデータベースを新システムに更新し、インターネットより当館収蔵品
を検索・閲覧可能とした。

令和6年度の収蔵品データベースへのアクセス件数

		データベース（件）	
4	月	590	件
5	月	570	件
6	月	636	件
7	月	695	件
8	月	714	件
9	月	761	件
10	月	994	件
11	月	718	件
12	月	525	件
1	月	1,153	件
2	月	1,054	件
3	月	667	件
合 計		9,077	件
平 均		756	件 / 月
（令和5年度		9,795	件）

(4) 施設利用状況

令和6年度 施設利用状況

展示室

区 分	展覧会 回 数	利用日数 (日)	観覧者数 (人)	利用可能日数 (日)	利用率 (%)
一般展示室	39	202	19,608	222	91.0
企画展示室	0	0	0	0	—
合 計	39	202	19,608	222	91.0
(令和5年度)					
	45	233	25,365	279	83.5

創作室

利用団体	利用件数(件)	月平均 件数(件)	利用人数 (人)	利用可能件数 (件)	利用率 (%)
9	204	17	3,273	367	55.6
(令和5年度)					
	179	15	2,839	273	65.6

施設申込状況

区 分		年度総件数	月平均件数	倍 率	
一般展示室	申込	74	6.2	最高	4.0倍
	当選	40	3.3	平均	1.9倍
企画展示室	申込	—	—		
	当選	—	—		

展示室の抽選は利用日の6ヶ月前

(5) 令和6年度 広報活動と反響

『三島喜美代-未来への記憶』

令和6年5月19日～7月7日

<p>< 新聞 ></p> <p>【記事】</p> <p>東京新聞 5月15日</p> <p>東洋経済日報社 5月17日</p> <p>陸奥新報 5月19日</p> <p>都政新聞 6月7日</p> <p>日本経済新聞 6月8日</p> <p>東京新聞 6月14日夕刊</p> <p>朝日新聞 6月18日夕刊</p> <p>毎日新聞 6月19日夕刊</p> <p>読売新聞 6月22日</p> <p>読売新聞 6月28日</p>		<p>【一覧】</p> <p>毎日新聞 5月10日、17日、24日、31日、 6月7日、14日、21日、28日、 7月5日</p>	
<p>< 雑誌 ></p> <p>懸賞なび 4月22日</p> <p>アートコレクターズ 4月25日</p> <p>週刊大衆 5月7日</p> <p>散歩の達人 5月9日</p> <p>クロワッサン（マガジンハウス発行）5月10日</p> <p>FIGARO 5月20日</p> <p>月刊美術 5月20日</p> <p>月刊江戸楽 5月20日</p>		<p>美術の窓 5月20日</p> <p>PEN 5月28日</p> <p>懸賞なび 6月1日</p> <p>女性自身 6月11日</p> <p>芸術新潮 6月25日</p> <p>いけ花龍生 7月1日</p> <p>イノセント・サバイバー～迷える子の生きる道 7月30日</p>	
<p>< 会員誌、フリーペーパー等 ></p> <p>月刊 Kacce 5月1日</p> <p>陶説 5月1日</p> <p>陶説 6月1日</p> <p>光が丘 ima'am 6月1日</p>		<p>西武ニュース remo 6月1日</p> <p>ライフアップ 6月1日</p> <p>ARIFT 6月14日</p>	

< W E B >	
ファッションプレス	Tokyo Live & Exhibits
インターネットミュージアム	ART iT
個展なび	タイムアウト東京
アートアジェンダ	コモレバWEB
Tokyo Art Beat	ぴあWEB / アプリ
g-call	Art Guide TOKYO
スフマート	美術屋・百兵衛 ONLINE
Padograph	日本美術倶楽部
ウォーカープラス	美術展ナビ
KAMADO	ARTnewsJAPAN
ぴあポイントサイト	美術手帖
< その他 >	
調布エフエム放送株式会社	
練馬区役所庁舎内等モニター広告（4月22日～7月7日）	
練馬区公式 X（旧 Twitter）5月24日、6月8日、7月3日	
練馬区公式 LINE	
練馬区公式 facebook「多文化ねりま」6月12日、	
貫井図書館だより	
NHK ねこのめ美じゅつかん	
NHK 日曜美術館 アートシーン	
ジェイコム ジモトトピックス	
テレビ朝日 グッド！モーニング	
< 広告 >	
西武鉄道 Smile ビジョン 5月20日～5月26日	
SNS 広告（Facebook/Instagram/X）5月29日～6月8日	
SNS 広告（Facebook/Instagram/X/Yahoo!YDA）6月17日～6月26日（Xのみ27日まで）	
京王エージェンシー駅貼りポスター（1週間）	

『平田晃久 人間の波打ちぎわ』

令和6年7月28日～9月23日

<p>< 新聞 ></p> <p>【記事】</p> <p>陸奥新報 8月11日</p> <p>毎日新聞夕刊 8月22日</p> <p>朝日新聞朝刊 9月5日</p> <p>読売新聞朝刊 9月15日</p>		<p>【一覧】</p> <p>読売新聞夕刊 7月29日</p> <p>朝日新聞 8月6日</p> <p>毎日新聞 7月19日、26日、 8月2日、9日、16日、23日、 8月30日、9月6日、13日、20日</p>	
<p>< 雑誌 ></p> <p>日経アーキテクチュア 7月11日</p> <p>アートコレクターズ 7月25日</p> <p>東京かわら版 7月28日</p> <p>with (講談社) 7月30日</p> <p>月刊ブレーン 8月1日</p>		<p>ディスカバージャパン 8月6日</p> <p>住宅特集 8月20日</p> <p>月刊 Kacce 9月1日</p> <p>芸術新潮 10月号 9月25日</p> <p>新建築 9月号</p> <p>GA JAPAN 9-10月号</p>	
<p>< 会員誌、フリーペーパー等 ></p> <p>putit ぶんか村 6.7号、8.9月号</p>			
<p>< WEB ></p> <p>MIRAI ~ ちょっと先のミライを探しに行こう</p> <p>G-Call</p> <p>スフマート</p> <p>Padograph</p> <p>アートアジェンダ</p> <p>JDN</p> <p>インターネットミュージアム</p> <p>Fashion Press</p> <p>Walker+</p> <p>インテリア情報サイト</p> <p>個展ナビ</p> <p>TECTURE MAG</p> <p>web マガジン AXIS</p> <p>architecturephoto.net</p>		<p>東京医師歯科医師協同組合 HP</p> <p>KENCHIKU</p> <p>美術展ナビ</p> <p>WEB さんたつ</p> <p>クリエイターズステーション</p> <p>ぴあポイント</p> <p>住居の会</p> <p>Designboom</p> <p>ウェブ版「美術手帖」</p> <p>朝日新聞 DEGITAL</p> <p>artscape</p> <p>Tokyo Live &Exhibits</p> <p>カーサブルータス</p>	

< その他 >

練馬区役所庁舎内等モニター広告(7月8日～9月23日)

練馬区公式ホームページ

練馬区公式 X (旧 Twitter) 8月2日 9月16日

練馬区公式 LINE 7月26日 8月2日 9月20日

練馬区公式 facebook「多文化ねりま」8月28日

とっておきの練馬

貫井図書館だより

日曜美術館アートシーン 9月8日

< 広告 >

JDN バナー広告 7月12日～8月9日

SNS 広告 SNS 広告 (Facebook/Instagram/X) 7月25日～8月24日

西武鉄道池袋 LED ビジョン 7月29日～8月4日

京王エージェンシー駅貼りポスター (1週間～2週間 駅による)

『追悼 野見山暁治 野っ原との契約』

令和6年10月6日～12月25日

< 新聞 >

【記事】

新美術新聞 10月15日

日経新聞夕刊 10月25日

赤旗 11月1日

西日本新聞 11月5日

東京新聞 11月7日

毎日新聞 11月18日

毎日新聞 (共同通信) 11月29日

朝日新聞夕刊 12月10日

【一覧】

新美術新聞 8月15日

毎日新聞 9月27日

11月8日、15日

美じょん新報 9月20日

朝日新聞夕刊 10月1日

読売新聞夕刊 10月21日、18日

< 雑誌 >

美術の窓 令和5年12月20日

月刊美術 8月20日

月刊ギャラリー 10月1日

月刊美術 10月20日

週刊文春 11月21日

<p>< 会員誌、フリーペーパー等 ></p> <p>put it ぶんか村 10,11 月号</p>	
<p>< W E B ></p>	
アートアジェンダ	ぴあ
タイムアウト東京	TOKYO ART BEAT
G-Call	練馬経済新聞
スフマート	神戸新聞 NEXT
Padograph	WEB 埼玉新聞
Fashion Press	WEB 高知新聞
ArtSticker	WEB 日本海新聞
個展なび	WEB 沖縄タイムス
Walker +	WEB 下野新聞
レッツエンジョイ東京	WEB 東京新聞
M&C	WEB 秋田魁新報
インターネットミュージアム	WEB 信濃毎日新聞
GOTOKYO	WEB 福井新聞
美術ナビ	ぴあ「和田彩花のアートさんぽ」
ウェブ版美術手帖	
<p>< その他 ></p>	
<p>とっておきの練馬</p>	
<p>練馬区公式ホームページ</p>	
<p>練馬区公式 X (旧 Twitter) 9 月 17 日、10 月 6 日、25 日、11 月 12 日、29 日、12 月 15 日</p>	
<p>練馬区公式 LINE 9 月 27 日、10 月 11 日、25 日、11 月 15 日、29 日、12 月 13 日</p>	
<p>練馬区役所庁舎内等モニター広告 (10 月 1 日 ~ 12 月 25 日)</p>	
<p>練馬区公式 facebook「多文化ねりま」10 月 30 日</p>	

『トーク・トーク 40年のコレクションと展覧会』

令和7年3月7日～3月30日

<p>< 新聞 ></p> <p>【記事】</p> <p>東京新聞 3月20日</p>		【一覧】
<p>< 雑誌 ></p> <p>美術展びあ 1月20日</p> <p>芸術新潮1月増刊号 1月25日</p> <p>美術の窓 2月20日、3月19日</p>		<p>ギャラリーガイドブック 3月20日</p> <p>アートコレクターズ 3月25日</p>
<p>< 会員誌、フリーペーパー等 ></p> <p>ARIFT 2月14日</p>		
<p>< WEB ></p> <p>スフマート</p> <p>アートアジェンダ</p> <p>「じゃらんnet」観光ガイド</p> <p>JR西日本「おでかけガイド」</p> <p>ウォーカープラス</p> <p>個展ナビ</p> <p>美術展ナビ</p> <p>art sticker</p>		<p>ギャラリーガイドネット</p> <p>ぴあアプリ</p> <p>ウェブ版美術手帖</p> <p>Tokyo Live&Exhibits</p> <p>MIRAI～ちょっと先のミライを探しに行こう</p> <p>とっておきのねりま</p> <p>今見られる全国のおすすめ展覧会 100 by KATYCOM</p>
<p>< その他 ></p> <p>JR西日本スマホアプリ「WESTER」</p> <p>トヨタ（カーナビ）</p> <p>日本電線工業会 会員向けメール</p> <p>JCOM「ジモトピックス」2月22日～2月28日</p> <p>練馬区公式ホームページ</p> <p>練馬区役所庁舎内等モニター広告（2月16日～3月30日）</p> <p>練馬区公式X（旧Twitter）2月11日、28日</p> <p>練馬区公式LINE 2月14日、28日</p> <p>貫井図書館だより</p>		

SNSフォロワー数

練馬区立美術館公式X（旧Twitter）10,320人（令和7年3月31日現在）

前年度 8,841人（令和6年4月2日時点）

(1) 展覧会事業

令和7年度 展覧会等事業日程(案)

会期	展覧会名	会場	担当
4月6日 4月13日 <7日間>	第71回練馬区美術家協会展	練馬区立美術館	
9月10日 9月28日 <17日間>	アートマルシェ 2025 「身体で感じる緑とアート」展	美術の森緑地 サンツ中村橋商店街 練馬区立美術館	新井
12月11日 12月16日 <5日間>	第57回練馬区民美術展【前期】	練馬区立美術館	
12月21日 12月26日 <5日間>	第57回練馬区民美術展【後期】	練馬区立美術館	
1月25日 3月8日 <37日間>	幕末・明治の浮世絵—江戸・東京の都市と周縁—(仮)	練馬区立石神井公園 ふるさと文化館	加藤

※展覧会はすべて入場無料

アートマルシェ 2025「身体で感じる緑とアート」展 開催要項

- 1 開催趣旨

まちとアートを楽しむイベント「アートマルシェ 2025」の一環として開催する現代アート展。「身体で感じる緑とアート」をテーマに、5人の作家 廣瀬智央、山口啓介、渡辺泰幸、中村萌、白井晴幸がコミュニティの参加と協力を得ながら、美術館（ロビー等）、美術の森緑地、中村橋各所を会場に作品を展示します。花や果実を用いたインスタレーション、彫刻、サウンド・オブジェ、パノラマ風写真など多岐にわたる作品を美術館のみならず、まちなかに散在させることによって、今日の多様な美術表現の一端を祝祭的な雰囲気の中で紹介します。本展は、新しい練馬区立美術館の基本構想の一つである「まちと一体となった美術館」に基づき開催するもので、現代アートに気軽にふれる機会を広く提供して、まちに新しい語らいの輪が広がることを目指すとともに、アートの場としての中村橋の可能性を追求してまいります。

展覧会に併せて、出品作家による各種ワークショップを実施。また、一般社団法人パフォーミングアーツ協会とともに、子どもたちと一緒に作る植物や昆虫などの小道具や衣装に合わせたダンスを考えるワークショップを開催し、商店街を練り歩くパフォーマンスを行います。
- 2 会 期 令和7年9月10日（水）～ 9月28日（日） 実働17日間
- 3 会 場 練馬区立美術館、美術の森緑地、サンツ中村橋商店街
- 4 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 5 内 容 彫刻、写真、インスタレーションなど
- 6 小冊子 制作する（屋外作品設置場所を記したマップ付）
- 7 観覧料 無料
- 8 観覧者見込 6,000人（約353人／日）
- 9 担 当 学芸員 新井晃

幕末・明治の浮世絵 江戸・東京の都市と周縁 （仮称） 開催要項

- 1 開催趣旨 休館中の美術館の展覧会事業の一環として、石神井公園ふるさと文化館にて、互いの所蔵品を活用し、それぞれの学芸員のアイデアを合わせ、企画・運営する展覧会を開催する。
練馬区立美術館では 2015 年に開催した「没後 100 年 小林清親展」の開催を契機に作品、関係資料が寄贈・寄託されてきた。また、ふるさと文化館には石神井の名主、栗原家に伝わった、幕末の浮世絵版画が所蔵されている。
江戸・東京という大都市で育まれた浮世絵の様相、まだ鄙であった武蔵野、練馬へもたらされた浮世絵コレクションの経緯、都市と周縁という切り口で幕末・明治の浮世絵を読み解く展覧会。
- 2 会 期 令和 8 年 1 月 25 日(日)～ 3 月 8 日(日) 実働 37 日間
- 3 会 場 練馬区立石神井公園ふるさと文化館
〒177 - 0041 東京都練馬区石神井町 5 - 12 - 16
Tel: 03-3996-4060 Fax: 03-3996-4061
- 4 主 催 練馬区立美術館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
練馬区立石神井公園ふるさと文化館（公益財団法人練馬区文化振興協会）
- 5 内 容 版画、肉筆画など 約 70 点
- 6 図 録 作成する
- 7 観 覧 料 無料
- 8 イベント ギャラリートークを開催
- 9 観覧者見込 15,355人(415人 / 日)
- 10 担 当 加藤陽介（練馬区立美術館学芸員）
小宮佐知子（石神井公園ふるさと文化館学芸員）

(2)教育普及事業

令和7年度 教育普及事業

令和7年7月31日現在

館内事業

I) 展覧会関連事業

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
展示解説(ギャラリートーク)						
1	幕末・明治の浮世絵展 ギャラリートーク	未定	2	—	—	—

II) アートマルシェ事業

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
アートマルシェ ボランティア						
1	ボランティア募集	4月20日(日)～5月8日(火)	1	18歳以上	6名程度	8名
2	ボランティア活動とははじめレクチャー	5月31日(土)14:00～15:30	1	ボランティア	—	7名
3	ボランティア活動	6月5日(木)・11日(水)・24日(火)・28日(土)	4	ボランティア	—	延19名
		7月3日(木)・8日(火)・13日(日)・19日(土)・29日(火)	5			延22名
		8月～10月の予定	—			—
アートマルシェ パレード事前ワークショップ						
1	「植物や昆虫になりきってみよう！」 若羽幸平、山本裕(一般社団法人パフォーミングアーツ協会)	8月30日(土)10:30～16:00	1	小学生以上	30名	—
アートマルシェ						
1	パフォーマンスin the art	9月13日(土)11:00～13:00	1	—	—	—
2	ねりび・ボタニカル・パレード	9月14日(日)10:30～11:30	1	—	—	—
3	テント・ワークショップ	9月13日(土) 10:00～12:00、13:30～15:00 9月14日(日) 10:00～12:00、13:30～15:00	4	—	—	—
4	絵本の読み聞かせ(貫井図書館)	9月13日(土)14:30～15:00	1	3歳以上	—	—
5	リサイクル本頒布会(貫井図書館)	9月13日(土) 10:30～12:00、13:00～15:00 9月14日(日) 10:30～12:00、13:00～15:00	4	—	—	—
6	作ろう！世界にひとつのエコバック(貫井図書館)	9月13日(土) 10:00～11:00、11:30～12:30、 13:30～14:30、15:00～16:00 9月14日(日) 10:00～11:00、11:30～12:30、 13:30～14:30、15:00～16:00	8	—	各回 25名	—
7	地域の出店(美術館再整備まちづくり担当課)	9月13日(土)10:00～15:00 9月14日(日)10:00～15:00	2	—	—	—

Ⅲ) 施設等紹介事業

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
1	美術館バックヤードツアー	6月20日(金)10:30～11:30	1	小学生以上	25名	21名
		7月19日(土)14:00～15:00	1		25名	26名
		11月・12月の予定	2		—	—

Ⅳ) 講演会・ワークショップ等

	事業名	開催予定日	回数	対象	定員	参加
中高生の美術ゼミ						
1	「美術館学芸員の仕事」 池田芙美(サントリー美術館副学芸部長)＋小野寛子(練馬区立美術館学芸員)	6月14日(土)14:00～15:30	1	13歳～18歳	30名	19名
2	「陶芸家の仕事」 高橋奈己(陶芸家)	7月26日(土)14:00～15:30	1			19名
3	「ギャラリーの仕事」 小山登美夫(小山登美夫ギャラリー代表)	8月9日(土) 14:00～15:30	1			—
4	「体から、はみ出すということ」 若羽幸平(舞踏家)	8月23日(土)	1			—
5	「パブリックアートについて考えよう」 椎原伸博(美学者、実践女子大学教授)	9月23日(火・祝)	1			—
6	「アートを見る・聞く・伝える」 永田晶子(美術ジャーナリスト)	10月4日(土)	1			—
7	タイトル未定 小沢剛(美術作家)	11月1日(土)	1			—
8	タイトル未定 榎木野衣(美術批評家、多摩美術大学教授)	12月13日(土)	1			—
9	「美術の国際交流」(仮) 伊東正伸(練馬区立美術館館長)	12月27日(土)	1			—
10	タイトル未定 菊地敦己(アートディレクター)	令和8年1月17日(土)	1			—
講演会シリーズ「美術と社会」						
1	「女性たちのフランス近代—芸術家と働く人々」 馬淵明子(前国立西洋美術館長)	9月20日(土)14:00～15:30	1	—	—	—
2	「日本画の誕生」 佐藤道信(美術史家)	10月25日(土)14:00～15:30	1	—	—	—
3	「パリのアジア藝術家 1920-40 を考える」 稲賀繁美(比較文学・比較文化研究者)	11月29日(土)14:00～15:30	1	—	—	—
4	「近代日本と美術家」 尾崎正明(美術史家)	令和8年2月7日(土)14:00～15:30	1	—	—	—
5	「近代美術と社会—西洋近代絵画から見えてくるもの」 三浦篤(大原美術館館長)	令和8年2月11日(水・祝)14:00～15:30	1	—	—	—
小学生対象のワークショップ						
1	ネリビこどもワークショップ 「風景を歩く～手作り絵具で描こう～」 千村曜子(画家)	6月21日(土)13:00～16:30	1	小学校 1～3年生	12名	11名
2	ネリビこどもワークショップ 「はじめまして建築！ こども空間ワークショップ」 公益社団法人日本建築家協会 城北地域会	8月3日(日)13:30～16:30	1	小学校 4～6年生	40名	—
3	ネリビこどもワークショップ 「ユアサエボシの少年少女倶楽部 コラージュ大作戦」 ユアサエボシ(画家)	令和8年3月8日(日)13:30～15:30	1	小学校 5・6年生	20名	—
4	ネリビ図工室「好きな材料で自由に作ろう！」	5月24日(土)11:00～16:00	1	小・中学生	—	79名
		7月24日(木)11:00～16:00	1		—	110名
		12月26日(金)11:00～16:00	1		—	—

学校関連事業

I) スクールプログラム 内容を記載したパンフレットを作成し各学校に配布する。

① 施設見学 各学校の学習目的に合わせて館内(バックヤードを含む)を案内し、施設を紹介する。

	事業名	開催予定日	学校名	参加
	施設見学	6月26日(木)	日本大学通信教育部	18名
		7月1日(火)・7月11日(金)	日本大学	37名

② 出張プログラム 担当者が学校へ赴きコレクションや開催中の展覧会に関連した授業のお手伝いをする。

	事業名	開催予定日	学校名	参加
	出張プログラム	6月17日(火)・25日(水)	富士見中学校2年生	254名
		6月25日(水)	富士見中学校1年生	253名
		7月14日(月)	東久留米市立 神宝小学校6年生	54名